

## 第 3 期生駒市食育推進計画 第 2 回策定懇話会 記録

## 【開催概要】

○日 時：平成29年10月26日（木）14:00～16:00

○場 所：生駒市メディカルセンター 3階研修室

○出席者：

天野信子 松井英人 佐々木昇 吉川萌（代理：今西浩美） 藤尾庸子 岡島保弘 荻原佐久雄  
井上良作（欠席） 清水綾 山中治郎 桑田恵美子 諸熊えい子 牧香奈子 溝口雅代  
蒔崎忠雄

[事務局]

影林洋一福祉健康部長（欠席） 増田剛一次長（欠席）

健康課：吉村智恵 川島光 大谷幸代 村田陽子 松名美幸 山崎悟 山田憲司

委託業者：(株)地域計画建築研究所（アルパック）大阪事務所 武藤健司 片山麻衣

## 【議題】

- (1) 第 1 回策定懇話会の振り返り・補足説明等
- (2) 意見交換
- (3) 次回の日程・今後の予定など

## 【議事内容】

## 1. 開会

開会にあたり、吉村課長が挨拶を行った。

○吉村氏（生駒市福祉健康部健康課長）

今回は前回の懇話会での意見を踏まえ、検討した事務局案についてご意見を伺いたい。

第 2 期計画の数値目標に対する評価を見ると、十分な成果が出ておらず、ショックを受けている。

その原因の 1 つとして、市内で食育推進に取り組む方との連携不足などがあげられるだろう。

食育の推進は、市民の健康づくり、医療費の削減、地球環境の保全等など、皆様に多くのメリットがあり、今後も推進したい。本日もよろしくお願ひしたい。

## 2. 議事

議事にあたり、事務局より懇話会公開に関する意向確認を行い、公開とすることを決定した。

（傍聴人は無し）

- (1) 第 1 回策定懇話会の振り返り・補足説明等

事務局より、資料 1、参考資料 1、2 の説明を行った。

○事務局

前回の懇話会で質問いただいた「子どもの学力と朝食との関連」については、「学力・学習状況調査」の生駒市の結果が 9 月 29 日付けで市のホームページで公開されているため、確認いただき

たい。

○諸熊氏（生駒市環境基本計画推進会議）

市民アンケートの調査項目は、第2期計画策定時に調査された市民アンケートと同じものか。また、次回の市民アンケート調査はいつ実施する予定か。

○事務局

今回の調査で新たに追加した項目、あるいは必要がないと判断した項目は削除を行い、全く同じ内容ではない。例えば、朝食の内容、食塩・野菜の摂取等の項目は追加している。

また、食育推進計画は5年ごとの計画であるため、次回の市民アンケート調査の実施予定は5年後である。

○諸熊氏（生駒市環境基本計画推進会議）

食品ロスの原因の1つである賞味期限と消費期限の違いについて、市民には理解がまだまだ得られていない。次回の市民アンケート調査を実施する場合は、その違いを問うなど、設問を工夫いただきたい。

○山中氏（生駒市校長会）

学力と朝食との関連は、「学力・学習状況調査」において、「朝食を毎日食べている子どもほど正答率が高く、相関関係が認められる」という結果がでている。

## （2）意見交換

事務局より、資料2、3の説明を行い、意見交換を行った。

○天野座長（甲南女子大学）

生駒市で実際したい取り組みについて、各委員から多くのアイデアが寄せられている。

1団体で複数のアイデアが出ているところもあるが、事務局で◎をつけたところを順に説明いただきたい。

○藤尾氏（生駒市健康づくり推進員連絡協議会）

市内のびっくり通りの空き店舗を使用し、だしをとって作った減塩みそ汁を提供するなど、生駒商工会議所と連携し、住民と直接触れ合う活動を行いたい。

○山中氏（生駒市校長会）

保護者からお話を伺う中で「忙しい」、「簡単に調理できればいい」という話をよく聞く。パン1個ではなくて、電子レンジを使用し簡単にご飯とおかずができるなど、子どもたちも一緒に調理できる簡単なレシピなどがあればいい。

○桑田氏（生駒市保育会）

「小さいお子さんがごはんを食べない」という話をよく聞く。例えば、紙芝居を使って、お月見の話を行うなど、子どもが興味を持ってくれる取り組みが大事である。

○溝口氏（市民）

料理に必要な食材を覚えることができる「レシピ」というカードゲームを使用し、子どもに好奇心や興味をもってもらう取り組みを行いたい。高校生が中学生、中学生が小学生など、自分よりも下の世代にカードを教えることで、主体、受身両方の立場で食育を考えることができ、より興味を持ってもらえるだろう。

○諸熊氏（生駒市環境基本計画推進会議）

食育に関する映画の上映、家庭で使いきれなかった食材を使ってシェフが料理する「サルベージパーティ」の実施、脱出ゲームをしながら食品ロスについて学ぶなど、楽しみながら「食」を体験し、学んでほしい。

○今西氏（奈良県郡山保健所）

現在、生駒市でディアーズコープいこまと連携し、減塩、野菜摂取量の増加に関するポップ等を売り場で掲示している。この取り組みを他のスーパーで実施するなど、さらに拡大してほしい。

○蒔崎氏（市民）

老人会など、市内の小規模な集団から食育の取り組みを行うことで、まち全体に広がるのではないかと。例えば、「サプリメントは薬なのか」「ノンオイルは油なのか」などの食育クイズを講習会内で実施するなど、楽しみながら学ぶ方法がよいだろう。

○清水氏（いこま育児ネット）

リユースのプラレールで子どもたちが遊ぶ「プラレール広場」というイベントをベルステージで開催しており、そのイベントと一緒に食に関する啓発イベントを実施できないかと考えている。

○岡島氏（生駒市PTA協議会）

PTAは子どもに一番関わりが深い組織である。保護者向けには、配布物をメインに情報発信を行っているが、目にしてもらえないことも多い。何度も配布を続けることで少しずつ伝わっていくように思う。

最近、好き嫌いが多く保護者が増えており、親の嫌いなものは子どもが食べたくても食卓に出ないことがある。そういったことも伝えながら、食育に関する活動を実施したい。

○牧氏（市民）

実施している食育講座では、根拠のないネットの情報に惑わされている参加者もいる。正しい情報を伝えるための食育アプリの作成、専門家による食育講義などがあればよい。

○事務局

食育活動に関わる団体や個人どうしが連携するために、市のホームページでの情報公開等を通して、交流や情報交換を行うネットワークづくりができないかと考えている。

○佐々木氏（生駒市歯科医師会）

高齢者の患者を診ることが多い。歯が少なくなるとすぐ病気になるわけではないが、入れ歯は自分の歯に比べると半分程度しか噛む能力が発揮できないため、体重減少等の原因になる可能性がある。生駒市医師会、病院等と連携し、そういった情報を伝えていきたい。

また、長期入院者は口腔衛生への配慮がされていないことが多いため、口腔管理を含めて健康寿命を延ばすことが大切である。

○荻原氏（生駒商工会議所）

子ども向けには紙芝居を使って、食育に関する啓発ができればいいと思う。

また、「生駒まちゼミ」という講座の中で調理方法の紹介を行っており、「食育」をテーマにした講座の開催など、連携できないかと考えている。

○松井氏（（一社）生駒市医師会）

生駒市医師会が主催している市民講座では、子宮頸がんの予防、認知症の介護等をテーマに市民

の健康保持に向けた講演を行っており、ぜひ参加いただきたい。

「食」に関するイベントを開催する場合、食中毒など衛生面での問題があるため、食中毒の予防など、相談いただけたら協力したい。

○天野座長（甲南女子大学）

詳しい説明ありがとうございました。事務局側でアイディアの中身を確認したいものがあれば、意見いただきたい。

○事務局

PTAと連携した配布物での食育のPRは実現可能性が高いと思うが、実際に実現可能なのか。

○岡島氏（生駒市PTA協議会）

PTAから各学校に便りを配布する場合、生駒市PTA協議会を通して、各学校に確認が必要になるが、配布することは可能だろう。

○事務局

「生駒まちゼミ」について、詳しく伺いたい。

○荻原氏（生駒商工会議所）

「生駒まちゼミ」は、商店街等の各店舗で得意なことを活かし、プロの技を無料で教える講座である。食だけでなく、色々な技術を提供できるお店に協力いただき、実施している。例えば、料理教室を実施したいなど、具体的な案があれば、お店側も協力しやすい。

○事務局

食育に関する映画上映、「サルベージパーティ」等の食育イベントは、実施が大変そうであるが、様々な団体に参加してもらうことができるイベントだと思う。具体的にどこで開催されているという情報はるか。

○諸熊氏（生駒市環境基本計画推進会議）

具体的な情報はないが、開催したいと思い、提案した。消費期限が近い商品を安く販売する「はんぱ市」はならコープと連携し、生駒山麓公園等で実施してほしいと考えている。

○天野座長（甲南女子大学）

その他にこの団体となら連携できるなど、意見があればお願いしたい。

○藤尾氏（生駒市健康づくり推進員連絡協議会）

来年2月23日に子育てネット、健康課、環境保全課と連携し、魚料理をつくり、命の大切さを学ぶイベントを開催予定であり、ぜひ参加いただきたい。

以前、子どもが作ったみそでみそ汁を作ってマラソン大会で提供する活動を行っていたが、専門家から衛生面での指摘があり、現在は行っていない。イベント等の開催には、そういった制限があるため、残念である。

○諸熊氏（生駒市環境基本計画推進会議）

ならコープの組合活動の中で、テーマを決めて食育に取り組んでいるが、「美容と健康」のテーマでは市民からの反応がよい。市民が興味を持つ言葉でPRするなど、情報発信の工夫が重要だと感じる。

○岡島氏（生駒市PTA協議会）

「食」は子どもの成長に大事なものであり、特に小中学生はごはんの楽しみを一番覚える時期だ

ろう。しかし、現在の中学生はクラブ活動、塾等でとても忙しく、ごはんが後回しになっている現状にある。「食が大事である」ことをただPRするだけでなく、時間の使い方や生活リズムから変えなければ、朝食の欠食率や食べる内容が改善しないと感じる。

○牧氏（市民）

藤尾氏に質問であるが、みそ汁の提供の際に塩分計などを使っているのか。塩分計等を使用し、塩分量の基準を知ってもらうきっかけになればと思っている。

○藤尾氏（生駒市健康づくり推進員連絡協議会）

以前は試薬で塩分を測っていたが、お金がかかるため、現在は事前に測って「今日のみそ汁は塩分量0.7です」というように伝え、みそ汁を乳がん検査等で提供している。

ぴっくり通りでのみそ汁の提供は、月1回からでも実施したい。ぜひ健康課、商工会議所に協力いただきたい。

○天野座長（甲南女子大学）

各団体の取り組みは、それぞれで進めていただき、実現の際には事前に市に連絡をお願いしたい。次に第3期計画の基本理念や施策の柱について、事務局より詳しい説明をお願いしたい。

○事務局

事務局より、テーマ3についての説明を行った。

閉会前に以下の意見交換が行われた。

○荻原氏（生駒商工会議所）

基本理念は、次回の懇話会で決めると思うが、中学生や保護者から意見を募集することはできないか。

○岡島氏（生駒市PTA協議会）

次回の懇話会まで1ヵ月あるため、学校を通して実施できないことはないが、計画がどのようなかなどを最初から説明しないと難しいだろう。また、市のホームページに掲載した場合、教育委員会のページは探すことが難しいため、見つけにくいだろう。

○諸熊氏（生駒市環境基本計画推進会議）

エコネット生駒でも、子どもに意見を求めることを過去に検討したが、先生の負担が増えると考え断念した。

### （3）次回の日程・今後の予定など

今回は、11月30日（木）を開催予定とし、時間・場所は今回と同じとする。基本理念の絞り込み、第3期の数値目標の設定、素案の策定について話し合いたい。

以上